



令和5年3月31日

## 京都大学病院とバイオバンク事業に係る連携協定を締結

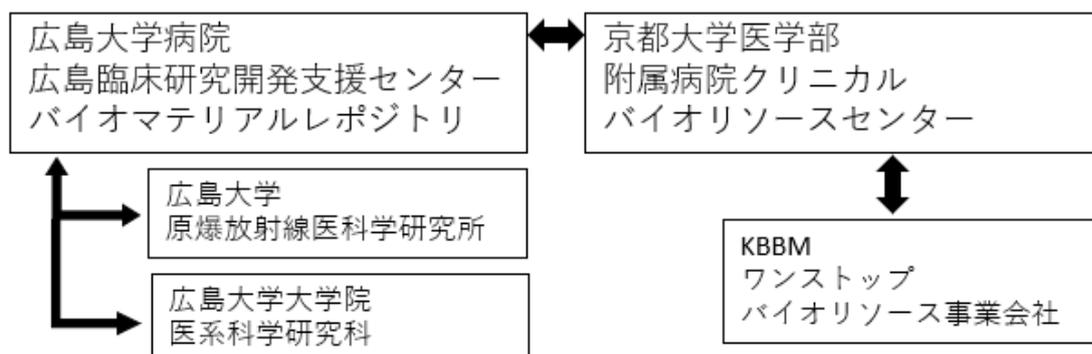
## 情報提供

広島大学病院（病院長：工藤美樹）と京都大学医学部附属病院（所在地：京都市、病院長：宮本享、以下『京都大学病院』）は、バイオバンク事業に係る連携協定（クリニカルバイオリソースアライアンス）を締結しました。

バイオバンクは、疾患発症メカニズムの解明や、治療・診断法の開発を目的として、研究参加の同意が得られた患者の生体試料（血液、手術・検査試料の一部など）と臨床情報を収集・保管するシステムです。広島大学病院では、悪性腫瘍、感染症、小児疾患、臓器移植などに関連する独自性・希少性の高い生体試料を保存・管理する「バイオマテリアルレポジトリ」を設置しています。生体試料を用いたがんゲノム研究においては、放射線災害・医科学研究拠点の原爆放射線医科学研究所や大学院医系科学研究科と連携をして、国内外と共同研究を推進する体制が整備されつつあります。

本協定においては、京都大学病院が持つバイオバンク運営のノウハウ等の提供を受け、同意取得や利活用手順の共通化、収集する生体試料情報と関連する臨床情報の共通データベース化などを実現することで、生体試料利活用の促進や多施設共同の基礎および臨床研究の活性化等を目指します。

## アライアンス契約



## 【お問い合わせ先】

医療政策室 医療政策・医学系研究推進グループリーダー  
星出隆昭

Tel : 082-257-5947

E-mail : iryo-seisaku@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 1枚（本票含む）